21　無題　恋人よ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　漢詩

１ 相　　時　 亦　 　　 ２ 東　風　㆑　力　百

３ 　　　　糸　 　　　 ４ 　　㆑　涙

５ 　　　 　 　　　６ 夜　吟　　月

７ 　　 　　 　　　８

【本文チェック】

①波線部を現代語訳し、〔　〕に書きなさい。

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

②点傍線部に、現代語訳を参考にして返り点をつけなさい。

ここからそう遠い道のりではない。

③すべての韻字を〇で囲みなさい。

【語彙力✚】

問１　次の語句の読みを現代仮名遣いで答えよ。

１　相 〔１〕（　　　　　　）

２　亦 〔１〕（　　　　　　）

３　方 〔３〕（　　　　　に）

４　為 〔８〕（　　　　　に）

問２　次の傍線部「方」の意味として最も適当なものを選べ。

１　　主　人　　㆑ 。（　　　　）

２　 　而　志　㆓ 　㆒。（　　　　）

ア　偶然に　　　イ　～する時は

ウ　ちょうど　　エ　行く

【文法力 ✚】

問３　次の漢詩を読んで、あとの問いに答えよ。

　　㆓ 岳　陽　㆒　　杜甫

昔　　洞　　水　　　今　　岳　陽　楼

呉　楚　東　　　　 　　日　夜

　　　一　字　　　老　病　㆓ 孤　舟㆒

　　関　　北　　 ㆑ 　　　①□

＊乾坤＝天地の万物。　＊親朋＝親戚や友人。

＊戎馬＝軍馬。　　　　＊憑＝寄り掛かる。

１　この詩の形式を答えよ。

　（　　　　　　　　　　　）

２　空欄①について、次の問いに答えよ。

　⑴この部分を補うのに最も適当な漢字を次から選べ。

　　ア　　　イ　　　ウ　　　エ

　⑵その漢字を選んだ理由を韻の観点から端的に答えよ。

　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３　五句目に返り点を付けよ。

　親　朋　無　一　字

４　この詩は作者のどのような心情を述べたものか。最も適当なものを選べ。

　ア　我が身の不遇と戦乱の世に対する嘆き

　イ　友人の冷たさと故郷の遠さに対する不満

　ウ　病気のつらさと友人との別れに対する不安

　エ　人間関係の豊かさと平和な世に対する期待

　（　　　）

【古典常識】

問４　次の文は漢詩の一首の構成についての説明である。空欄に当てはまるものを後から選べ。

　絶句は一句＝（①　　）で話題を始め、二句＝（②　　）で一句を発展させて、三句＝（③　　）で変化を入れ、四句＝（④　　）で収束させる四段構成になっている。

　一方、律詩は一・二句＝（⑤　　）、三・四句＝（⑥　　）、五・六句＝（⑦　　）、七・八句＝（⑧　　）の四段構成になっている。

ア　転　　　イ　起　　　ウ　結　　　エ　承

オ　尾聯　　カ　首聯　　キ　頸聯　　ク　頷聯

【解答】

【本文チェック】

①　月光の冷たさをおそらく感じていることだろう。

②　此　去　無㆓ 多　路㆒

③　難・残・乾・寒・看

問１　１＝あい　２＝また　３＝まさ　４＝ため

問２　１＝ウ　２＝イ

問３　１＝五言律詩

　　　２　⑴　ウ　　⑵　「楼」・「浮」・「舟」と同じくｕ音で終わるから。

　　　３＝親　朋　無㆓ 一　字㆒　　４＝ア

問４　①＝イ　②＝エ　③＝ア　④＝ウ

　　　⑤＝カ　⑥＝ク　⑦＝キ　⑧＝オ

【書き下し文（現代語訳）・参考】

問２　１　時に主人にを蒸す。（その時店の主人はちょうど黍を蒸していた。）

２　琴をするにたりて志に在り。

　　　　（琴を奏でる時は、太山にいるような気持ちで演奏した。）

問３　にる

くの　る

にけ　 かぶ

く　 り

の　 にりてる

訳　岳陽楼に登る　　杜甫

昔から洞庭湖（のすばらしさ）のことを聞いていたが、今（思いがけずにこの地に漂泊して、湖畔の）岳陽楼に登った。

（見下ろすと）呉楚両国が（この湖によって）東南に分けられ、（果てしない湖面には）天地（の万物）が昼も夜も浮かんでいる。

親戚や友人からは一字の便りもなく、年老いて病気がちの我が身には、たったの小舟があるだけである。

関所の山々の北側では今も戦争が続いており、（山向こうの故郷へは帰ることもできない。）岳陽楼のに寄り掛かり、（乱世と我が身の不運を思うと）涙が流れる。

問４　律詩の頷聯と頸聯は原則としてそれぞれ対句にしなくてはいけない。